

□議員名：平原廉清

1 山口国体の観光面の成果について

論点	先の山口国体について観光の観点からどのような成果があったか。
回答	大会期間中本市を訪れた選手ほか関係者は1万7千人だが、各競技会場に設置した7箇所の案内所及び小野田、厚狭両駅前の観光案内所でPRグッズを配布した。また山口の総合開会式場やサッカー競技会場で当市名産品の販売をしてPRした。

2 観光の振興による交流増大について

論点	観光検定ガイドブックをもっと活用する策を講じては。
回答	ガイドブックは市観光協会が作成したもので、市内の観光情報を一つにまとめ、持ち歩き出来るようコンパクトに作成された。実際に足を運んでもらい、足元から我がまちを見て欲しいし、秋には観光検定を実施予定だ。

論点	観光客誘致は難しい中で、観光検定合格者を観光ボランティアとして組織化し、観光振興に活かしては。
回答	提案はもっともだ。当市は観光のボランティアガイドの育成の面で不十分であるので、将来それが出来るよう育ててほしいと思っている。

3 市外から当市内観光をする際の足の確保について

論点	公共交通を利用した市外の観光客の足の確保が無ければ、交流人口の増加も望めない。
回答	現在の公共交通としてのバス路線は、基本的には生活利用を前提としており、観光用には非常に利用しづらい面があるが、一定の需要がない限り路線の新設等は難しい。

論点	市観光協会がレンタル自転車を運営したらどうか。自転車があれば、江汐、物見山、竜王山の3公園を一日で巡れる。
回答	自転車のレンタルは自転車協会あたりの問題と思う。需要があれば必要だと思う。地域的には山坂あまり無い地域だから、かなりな所はこれで観て歩けると思う。

4 市観光協会の法人化について

論点	観光の経済的、社会的効果をねらう観点から、市観光協会にアドバイスして法人化させ、着地型観光に力を入れるべきでは。
回答	観光協会を役所内から外に移し、専任の職員を雇い、観光の業務推進に当たるのがベストと思うが、現状、収入が会費と補助金に限られており難しい。法人化すれば社会的認知度も広まるが、それは協会と会員とで決めることであり、市として出来る範囲で支援していく。

5 古い観光資料の見直しについて

論点	国体があったにもかかわらず観光パンフに古いものが使われて、現在無い施設が載せられている。古い資料は見直すべきだ。
回答	古い資料だけでなく、市の内外の皆さんに誇れると豪語する以上全体的にもう一度きちんと見直しをする。中途半端なことは、担当課として許さない。

6 観光、交流人口増大策としての長距離ウォーキング大会創設を。

論点	アサギマダラ、本山の奇岩を「売り」にすれば、市外からのウォーカーが沢山集まる。長い目で見て経済的、社会的効果が期待される。
回答	大規模なウォーキング大会となると、安全面、休憩所の問題などあり、多くのボランティアや企業などの協力なども必要となり、行政ではなく民間主導で進めてもらうのが良い。すぐに実施できるものではない。

論点	現行のウォーキング大会とは性格が全く違い安全面やトイレなどの問題点は少ない。お手本は下関歴史ウォークで相乗効果は大きい。
回答	検討する。